

市長定例記者会見報告事項概要(4月)

令和2年4月27日(月)午後1時～

1、補正予算案の概要説明

- 報道機関関係者の皆様、新型コロナウイルス感染症について防府市の取り組みを的確に報道して頂き、感謝申し上げます。
- 新型コロナウイルス感染症は、経済的にも多大な影響がある。
- 公務員生活40年で、昭和60年の円高不況、平成3年から平成5年にかけてのバブル経済の崩壊、そして平成20年から21年のリーマンショックという大きな経験をしたが、それらをはるかに上回る。
- そして、何よりも先が見通せないことから、市民の皆様は不安感を抱いている。
- 今お手元にある5月1号の広報の表紙にある花回廊をつくったのは4月14日の夕刻で、それが終わった後に防府商工の教員に新型コロナウイルス感染症の感染が確認された。
- そして4月15日、この写真をとったときに防府市内の方2名の感染が確認された。
- 翌16日に全国47都道府県に緊急事態宣言が発令された。
- そうした意味でこの広報は、防府市の歴史に残るものであり、この表紙が懐かしく思える日が来るように思いを込めて取り組んでいきたい。
- 今回の補正予算編成にあたり商工会議所や飲食業組合の方々と数度にわたり意見交換を行った。
- また、ルルサスに設置した総合相談窓口では、これまで170件を超える相談があり、特に飲食業関係の方から資金繰りと国県市の助成についての相談があったと聞いている。

- そういった様々な意見や国・県の補正予算の動向を踏まえ予算編成した。
- 今回の補正予算は、国の給付金も合わせると128億円を超えており、過去最大の補正予算額。
- 国の事業として給付金が119億8千3百万円、防府市独自事業として8億6千7百万円を計上。
- 特に市独自事業としては、「感染拡大防止対策」で1億4百万円、当面の事業者への対策として「事業者対策」で6億3千万円、「その他」として1億3百万円、合わせ8億6千7百万円。
- 国事業の特別定額給付金は27日に閣議決定したことを受け対応する。
- 本日付で総合政策部の中に特別定額給付金室を新設した。手続きはオンラインや郵送で対応する。
- できるだけ早く市民の皆様にお届けすることが重要であり、他市に遅れることなく対応したい。
- 特にマイナンバーカードをもっている方は5月1日予算が成立したら直ちに受付を開始し、早ければ連休明けの5月7日にはお手元に給付できる体制を整えたい。
- 他市に遅れることなく、この給付金の意味を踏まえ市民の皆様が使って頂き市内の経済の活性化に繋がることを期待している。
- また、子育て世帯を対象とした臨時特別給付金については6月中には給付できる体制を整えたい。

感染拡大防止対策

- 何よりも市民の命が大切、感染の防止が一番だと考えている。
- 感染拡大防止対策への支援として、幼稚園や保育所、高齢者福祉施設などの施設に対して、一律に10万円を支給する。

- 診療所等の感染予防対策として、休日診療所と野島診療所の殺菌対応型空気清浄装置、また、消防本部には、感染症の患者に対応できるような資機材を整備する。
- 万が一、感染症患者が発生した場合、消毒にかかる経費を上限10万円で助成する。

事業者対策

- 現在も商工会議所等と一体となって、いろいろな取り組みを進めている。
- 総合相談窓口を、4月13日にルルサスの2階に設置し、現在170件を超える相談を受けている。
- 雇用調整助成金については、国の方でも議論等されているが、特別分の休業手当の10分の1を上乗せ補助することになっている。解雇されない場合は10分の9になっているので、事業者負担をゼロにする。
- 事業継続緊急支援給付金は、売り上げが大幅に減少している飲食業、観光業等の方々に対して、事業が継続できるよう、家賃や衛生対策などに経費がかかっているのを、一律に、影響のあるところについては、20万円を支援したいと考えている。意味合いとしては見舞金、激励金。受付は商工会議所をお願いします。手続きについては、商工会議所のホームページなどで順次出せるのではないかと思う。対象業者の、飲食業、観光関連業、理美容業等の「等」については、タクシー、貸し切りバス事業者を想定している。受付開始は、連休明けの5月7日を予定。

活性化対策

- コロナ感染症収束後の活性化対策として2億1千万円を計上した。

- 事態がある程度収束すれば、国でも施策を展開すると思われるが、それらと一体となってやっていくこととなると思う。
- この度のコロナウイルス感染症の拡大により、影響を大きく受けているのが、飲食業、タクシー業、ホテル等の観光業や、現在登校することができない、小中学校の子どもたち。
- また、現在ホームページで防府市出身の県外にいる方へ、このゴールデンウィークはできる限り帰省しないよう申し上げていることから、そういった人たちや家族にも影響を与えているものと思う。
- これらを踏まえて対策を考えた。

子育て支援・飲食業活性化事業

- 子育て支援ということも踏まえ、乳幼児を含む中学生以下の子どもに一人当たり1万円のクーポン券を家庭に届けたい。
- 市内の飲食店に限定するので、これも飲食業の活性化につながるかと思う。
- 利用時期については新型コロナウイルス感染症がある程度収束した後、改めてお知らせしたい。

宿泊促進・観光活性化事業

- 現在、ホテルの利用率が非常に低く、タクシー業界も非常に疲弊している。
- 元気になってからの防府のまちづくりの観点からもホテルやタクシーの役割は大きい。
- これらを踏まえ、一人当たり5千円のクーポン券を配布したいと考えている。

- クーポン券は宿泊4千円、タクシー1千円をセットにしたい。市民が最低一人いて、それを含む3人以上のグループの方を対象にしたいと考えている。
- 例えば、久しぶりに会う友達との同窓会や法事などで帰省される方に利用していただきたい。一緒に食事等をしていただき、さらに泊まっていただくことで防府のまちの活性化につなげていきたい。
- さらに、タクシーチケットを上手く使って市内の観光へ足を運んでいただくという仕組み。
- これについても、収束後後しっかりと対応できるよう、準備を商工会議所等と一緒に進めていきたい。
- 国が新型コロナウイルス感染症収束後に実施される「Go Toキャンペーン」と時期を併せて効果を高めるなど、商工会議所やコンベンション協会等と調整しながら、実効性が上がるよう考えていきたい。

災害時の避難所対策

- これから梅雨も始まり、夏、秋には台風が来る。そうした時に避難所が密にならないようにする対策が必要。
- 密にならないようホテルの部屋を借り、そこへ避難していただけるよう、1千万円、約2千室相当の予算を計上させていただいた。

教育環境対策

- 本市では小中学生に一人一台のタブレットを令和元年の補正予算と令和2年度当初予算で整備することとしている。
- これを活かして、家庭での遠隔学習が可能となるよう、学校における環境の整備を行いたいと考えている。

- 当初はタブレットを家庭に持ち帰ることは想定していなかったが、家庭でも学習ができるように環境を整備したいと考えている。
- 1人1台タブレットの整備することとしており、家庭での遠隔学習に対応する学校の設備等を整え、今年末には対応する予定で考えている。
- 小中学生に歴史のまち防府を学んでいただくため、全ての小中学生にVRゴーグルを配布することとしている。

高齢者の健康対策

- 高齢者の元気アップ体操を行っているが、施設に行けない状況が続いているため、山口市と一緒にケーブルテレビを使い番組を流したいと考えている。5月11日から3カ月を予定している。

飲食業新規事業展開対策

- 商工会議所でテイクアウトの需要拡大に関する取り組みを行っている。それに対する助成を考えており、3百万円を計上している。

その他

- 学校給食に食材費の補填で1,650万円を計上している。
- 今後何かあったときに備え機動的に行政として対応できるよう、予備費1億円をコロナ対策事業に計上できるよう議会にお諮りしたい。
- 市独自事業8億6千7百万円と国事業119億8千3百万円の合計128億5千万円の予算となっている。
- 市の補正予算としては過去最大規模。
- 今回の一般財源については、財政調整基金の取り崩しで対応させていただいている。

- 現在、基金は17億強だが、その2分の1を取り崩して対応させていただく。
- 財政状況は厳しい。しっかりと国へ財源を要望する。
- 今回、国の地方創生交付金が総額約1兆円、前回リーマンショック時にも同様の交付金が全国で1兆円あり、防府市は4億4千万円、今回は都会（営業停止が多いため）への交付が大きくなり、防府市への分配は前回の半分程度しか見込めないと考えている。
- 本日、財政健全化対策本部長（副市長）から各部局に対し、緊急的な財源確保対策についてということで通知している。
- 今回のみならず、コロナ対策として更なる対策が必要になってくるかもしれない。その財源確保のため、これまで中止・縮小になった事業の予算がどれくらいあるのか調査を行う。
- 不要不急の事業を中止等しながら、財源を確保する必要がある。財政当局から調査を行う。
- このような状況なので、私自身の給与も2割カットし、いわゆる夏のボーナスも2割カットする。当面、期間は6ヵ月を予定しているが今後の状況次第で延長、拡大になるかもしれない。
- まずは私自身、6ヵ月で市民の皆様が元気になるように、先頭に立って取り組むことから6ヵ月ということにしている。あえて1年としていないのはそういう意味。
- 1日も早く、明るい防府が取り戻せるように頑張っていきたい。
- これまでにない国難の中、国県市が連携して、市議会、商工会議所、飲食業組合、その他関係団体と力を合わせ、市民の皆様と一緒に今を乗り越えていきたいと考えている。
- 国の制度である持続化給付金についてもしっかりとPRしていただきたい。

- マスコミの力は大きい。しっかりと発信していただき、防府が、山口県が、そして日本が元気になるように報道していただけたらと思う。